

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）総括表

資料 2

【達成状況の目安】◎：年度目標以上のものが達成できた　○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた　×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

◆基本方針別取組状況

基本方針	取組項目数	重点取組項目数	重点取組項目の達成状況		主な取組内容
1 誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	29	28	◎	0	高齢者）ふれあい・いきいきサロン、コミュニティカフェを実施。様々な工夫を凝らし地域の高齢者の仲間づくりや交流の場を提供。 子ども）ふれあい・子育てサロンの実施。風揚げ、折り紙教室、子ども食堂等、地域ぐるみの子育て支援に取り組む。インスタグラムでの子育てサロン動画の配信を行う。 その他）歩こう会、グラウンドゴルフ、ポッチャ、バレーボール大会等の運動イベントの開催。介護支援・介護予防教室、福祉の集いの開催。健康体操、ラジオ体操等を通し健康づくりに取り組む。
			○	24	
			△	1	
			×	1	
			―	2	
2 あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	26	12	◎	0	訪問、安心カード配付、広報紙による地域住民への啓蒙、理解促進等に取り組む。支えあい活動により、買物、付添、ゴミ出し等の支援を行う。高齢者等の見守り活動者や普及のための地域住民の説明会の実施。地区部会や町内自治会の広報や各種イベント等で福祉活動推進員やボランティアの募集を行う。 （共通）「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進
			○	10	
			△	1	
			×	0	
			―	1	
3 備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	3	3	◎	0	地域自治会やボランティア活動により防犯パトロール、セーフティーウォッチャー等の見守り活動、チラシ回覧にて注意喚起を促す。防災マップ作成準備、町内自治会に対し自主防災組織設置の働きかけ、防災訓練、防災講習会等の開催、町内自治会と地区部会による災害時要支援者情報の共有化検討等に取り組む。
			○	3	
			△	0	
			×	0	
			―	0	
4 必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	21	6	◎	1	「ミニ福祉通信」等の広報紙を発行。地域福祉に関する多様な情報提供を実施。地域ケア会議を開催し地域課題の共有と意見交換を行う。サロン開催や広報誌作成時にあんしんケアセンターと連携し、相談窓口の設置や介護保険等の情報提供に取り組む。 （共通）オンライン会議の普及・啓発
			○	5	
			△	0	
			×	0	
			―	0	
5 世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	16	2	◎	0	ふれあい祭等を通した子供たちとのふれあい、小中学校の夏季及び冬季休業時に学校と地域との連携による工作教室や昔遊びの実施。高校、大学、地域住民並びに地区部会の連携によるふれあい・子育てサロン、各種講座を実施。広報誌を発行し、福祉教育に代わる啓発や福祉に関する地域への情報提供を行う。 （共通）各地区部会エリアの連携（好事例等の情報交換）
			○	1	
			△	0	
			×	1	
			―	0	
今年度の振り返り	95	51	◎	1	昨年度までは新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止や見合わせする活動が見られたが、今年度は各活動団体が感染症対策を講じつつ多くの活動が再開されたため、年度目標を概ね達成した取組みが8割を超えた。 また、年度当初に第5期計画中間見直しを行い、次年度からの重点取組目標の選定作業をおこなっており、新たに設定した若葉区共通の取組みについての内容も反映した。
			○	43	
			△	2	
			×	2	
			―	3	
今後の課題と方針	今年度実施した中間見直しで、第5期計画策定時は未設定であった「具体的な取組み」「重点取組項目」を各社協地区部会エリアで選定している、次年度からは、各社協地区部会エリアで作成した年次計画表（令和6年度～令和8年度）を基に、年度毎に進捗状況を把握しながら取組を推進していく。 また、中間見直しで課題として上げられていた、若葉区全体としての活動の一体化、オンラインの普及・啓発、各活動団体間の連携や情報共有等に対しては、独自に「若葉区全体の統一した試み（若葉区共通）」を設け、推進協議会が中心となり取組を進め、各地区部会エリアの取組みにも反映させていく。				

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	令和5年7月14日（金）	第5期計画中間見直し素案作成　令和4年度取組み状況調査
第2回	令和5年10月27日（金）	第5期計画中間見直し原案作成
第3回	令和6年3月6日（水）	令和5年度以降の年次計画書　若葉区統一した試みの検討　次年度のスケジュール等

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第28号	3月	840部　（自治会、社協、市民センター、公民館、図書館等）

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

●白井地区部会での取り組み

【敬老会】
圏域が広く、会場まで徒歩で来ることができない参加希望者に対して、近隣の3施設（和陽園、美香苑、中野園）に、当日の送迎について協力を仰ぎ、実施することができた。
【将来的な人材育成】
他区の地区部会の福祉教育の取り組みを視察した。

●千城台東南・金親地区部会での取り組み

【買物支援サービス事業】
移動が困難な高齢者の食料品や生活用品等の買物のニーズに答えるため、エリア内に設置されている施設が地域貢献活動をしたい旨、市社協を通じて連絡があり、検討を重ね、令和5年9月より、当該サービスを開始。アンケートの結果を踏まえ、千城台東町から試験的にスタートし、徐々にエリアを拡大していく予定（千城台東3、4丁目から1、2丁目へ拡大）。施設に車両を出してもらい、毎週水曜日、午前と午後一便ずつ運行。

【有償の家庭ごみ排出代行事業】
住民の高齢化により、市営や県営住宅の高階の住人や、戸建てにおいてもごみ収集場所が遠く、ごみ出しが困難な住民が年々増加するなか、これまでのボランティアによるごみ出し支援が、ボランティアの高齢化により、現状を継続することが困難な状況にあった。その将来を見越した対応策として、有償のごみ出し支援事業を検討。千葉市よりダストボックスの提供を受け、近隣の生活介護事業所の協力により、令和5年8月より当該事業を開始。ごみ出し希望者より料金を徴収、ごみ排出代行者へ協力を支払う仕組みを確立。生活介護事業所が排出代行を担当。予め取り決めた曜日と時間にごみを回収しダストボックスで保管、収集日に収集業者が込みを収集する。

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
- ：年度目標が概ね達成できた場合
- △：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
- －：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針
坂月地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	・歩こう会、グラウンドゴルフ大会の実施 ・アルパ(ハーブ)演奏会の実施 ・坂月小学校児童との交流事業(花植え)の実施	・10/29(日)に坂月小ランドにおいて、ランドゴルフ大会を予定していたが、雨天のため中止となった。 ・12/2(土)に大草町自治会館において、アルパ演奏会を実施した。 ・2/7(水)に坂月小学校児童との交流事業「花と心の通路」花植えを実施した。 ・2/18(日)に歩こう会及び小倉会館において落語会を実施した。	○	・歩こう会、グラウンドゴルフ大会の実施。 ・アルパ(ハーブ)演奏会の実施。 ・坂月小学校児童との交流事業(花植え)の実施。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
4,884人、2,220世帯								
【町内自治会数】	共通	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・「安心カード」の配付状況の確認と、緊急通報システム利用の促進を図った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	
5 町内自治会								
【高齢化率】								
21.1%	○	備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	⑧ 防犯活動の実施	・学校セーフティウォッチャー事業への協力することと併せて、人員を確保するため、登録の呼びかけを行う。	・学校セーフティウォッチャー事業に一年を通じて参加協力し、児童の登下校の見守りを行った。	○	・学校セーフティウォッチャー事業への協力することと併せて、人員を確保するため、登録の呼びかけを行う。	
【地域の特徴】								
戸建住宅が少しずつ増え、新住民も増えてきているが、多くの生徒は、千城台西小学校へ通学しているため、エリア内にある坂月小学校（市内で最少人数）に通学する生徒は少ない。								
	○	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・地域福祉に関する情報を発信するため、広報紙「あさつゆ」の内容の拡充を図り、年2回発行する。	・広報紙「あさつゆ」を9月、10月の年2回発行し、方法の発信に努めた。	○	・地域福祉に関する情報を発信するため、広報紙「あさつゆ」の内容の拡充を図り、年2回発行する。	
	共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪ オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	—	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	
	共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	⑬ 福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

◎：年度目標以上のものが達成できた場合

○：年度目標が概ね達成できた場合

△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

－：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針							
貝塚地区部会エリア	※○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	① あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・ふれあいの仕組みづくりとして、いきいきサロンやボランティア講座等を通じて交流・居場所づくりの推進。	・いきいきサロン「貝塚くらぶ」を4カ所、計5回実施した。	○	・引き続き、ふれあいの仕組みづくりとして、いきいきサロンやボランティア講座等を通じて交流・居場所づくりの推進する。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開							
【人口・世帯数】															
6,504人、3,664世帯															
【町内自治会数】															
9 町内自治会	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	② 健康や介護を通じた関係づくり	・健康づくりのための健康セミナーや「100歳体操」(いきいきサロン時)の実施。	・11/26(日)に芋煮会に合わせて健康セミナーを実施した。また、いきいきサロン時に体操を実施し、健康づくりに努めた。	○	・引き続き、健康づくりのための健康セミナーや「100歳体操」(いきいきサロン時)を実施する。								
【高齢化率】															
21.1%	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	③ 公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	・お楽しみ会の実施(児童・未就学児対象)。	・7/8(土)に貝塚団地集会所において、12/16(土)に東部自治会館において、児童・未就学児を対象としたお楽しみ会をそれぞれ実施した。	○	・お楽しみ会(児童・未就学児対象)について、周知方法を検討し、実施する。								
【地域の特徴】															
代々続く旧家の多いエリアと、造成地へ戸建てが立ち、そこへ住む転入住民、賃貸住宅の多いエリアなどが混在し、古くから住宅のあるエリアでは2世代、3世代同居の家も多い。									※○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	・芋煮会、敬老会、茶話会等の地域行事を通して、ふれあい交流活動の実施。	・11/26(日)に芋煮会を実施した。また、敬老会、茶話会を1地区で実施した。	○	・芋煮会、敬老会、茶話会等について、参加者を増やすために、声かけすることと併せて、高齢者の声を参考に内容を充実させる等、地域行事を通して、ふれあい交流活動を推進する。
									共通	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・413地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況の確認。 ・通報システム利用状況の確認。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。
	○	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・年1回広報紙の発行を実施。	・3/1に貝塚地区部会だよりを発行した。	○	・引き続き、貝塚地区部会だよりを年1回発行する。								
	共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪ オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	—	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。								
	共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	⑬ 福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。								

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

◎：年度目標以上のものが達成できた場合

○：年度目標が概ね達成できた場合

△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

－：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針	
桜木地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	①	あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・いきいきサロンの運営支援。 ・子育てサロン「ととけっこー」の運営。	・いきいきサロン7か所で、延べ66回実施した。 ・子育てサロン「ととけっこー」を10回実施した。	○	・いきいきサロンを7か所で実施する。 ・子育てサロン引き続き実施。平均参加組組数4組。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】									
15,107人、7694世帯									
【町内自治会数】	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	②	健康や介護を通じた関係づくり	グラウンドゴルフ大会、ポッチャ大会等、スポーツを通じた地域づくり。	・9/16(土)に桜木小学校体育館において、各町内自治会の60才以上を対象に、ポッチャ体験会を開催。58名の参加があった。 ・11/19(日)に桜木小学校グラウンドにおいて、各町内自治会の65才以上及び老人クラブを対象に、グラウンドゴルフ大会を開催。45名の参加があった。 ・2/18(日)に桜木翔学校体育館において、各町内自治会の60才以上を対象に、ポッチャ大会を開催。64名の参加があった。	○	・参加自治会数平均9自治会。	
20町内自治会									
【高齢化率】									
27.3%	共通	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑥	見守り活動・助けあい活動の 仕組みづくり	・402地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況の確認。 ・通報システム利用状況の確認。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	
幹線道路が複数本通っており、地域を分断している。 住宅地が多く、古くからの住民に加え、新住民が増えてきている。									
	共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪	オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	—	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	
	共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	⑬	福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
－：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針
小倉地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	①	あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・「ふれあい・いきいきサロン」の内容充実及び参加人数の増加。 ・「ふれあい食事サービス」の再開の検討。	○	・「ふれあい・いきいきサロン」の内容充実及び参加人数の増加。 ・「ふれあい食事サービス」の再開の検討。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
13,984人、6,731世帯								
【町内自治会数】	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	④	福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	・「吹奏楽コンサート」や「介護講座」、「散歩クラブ」などの開催。施設等へのボランティア参加の検討。	—	・「吹奏楽コンサート」や「介護講座」、「散歩クラブ」などの開催。施設等へのボランティア活動。	
12町内自治会								
【高齢化率】								
26.8%	○共通	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑥	見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・民生委員の協力による「安心カード」の配布と緊急通報システムの利用促進。	○	・民生委員の協力による「安心カード」の配布と緊急通報システムの利用促進。	
【地域の特徴】								
約1,600世帯が属する小倉台中央自治会（小倉台1丁目～小倉台7丁目）がエリアの中心にある。千葉都市モノレール小倉台駅を中心に、南北には戸建て主に住宅からなる住宅街と一部集合住宅（市営・県営）、幹線道路沿いには商店街が広がる。								
	共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪	オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	
	共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	⑬	福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携（好事例等の情報交換）。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
- ：年度目標が概ね達成できた場合
- △：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
- －：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針														
白井地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	協力的な福祉施設が多い、地域特性を活かす。 ・ポッチャ体験会、タオルでボランティアなどの福祉施設とのふれあい交流活動の推進を図る。 ・福祉施設と地域で連携できる項目を検討する。	・敬老会と4自治会でポッチャ体験会を実施した。 ・タオルでボランティアを実施し、年間を通して560枚を収集。地区内の14施設に配布し、情報交換と交流を図ることができた。 ・1/27(土)に白井公民館において、第2いずみ苑の協力を得て、車椅子講習会を実施。25名の参加があった。 ・9/18(月 敬老の日)に白井地区敬老会を実施。参加者の送迎について、近隣3施設に協力いただき、自治会と施設との交流にもつながった。	○	・自治会対抗ポッチャ大会の実施 ・敬老会、自治会でのポッチャ体験会の実施。 ・タオルでボランティアの実施。 ・地区内福祉法人との意見交換会の実施。 ・福祉法人の敬老会参加者の送迎の継続と買物支援など新たな協力体制の検討。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開														
【人口・世帯数】																						
6,270人、3,476世帯																						
【町内自治会数】	○	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑤ 活動の中核となれる人材の発掘	・人材の発掘方法の検討を行う。 ・各自治会へ出向きイベントを開催し、協力員となりうる人材の発掘を行う。(自治会役員OB、協力員の充実)	・17連協自治会長を対象に白井公民館で、また、地区内3ヶ所において認知症講座を開催。人材の発掘に努めた。 ・8/5(土)に白井公民館において、自治会長・役員・協力者を対象に、地区内ボランティア団体の事例紹介を実施。23名の参加があり、地域ボランティア活動への理解を深めた。	○	・地区内3ヶ所において、認知症講座の開催。 ・認知症サポーター養成講座の開催。 ・福祉活動推進員の増員(1名～2名)。 ・各自治会でのイベントに出向き人材の発掘を積極的に行う。 ・障害者へのサポート講習会の実施 ・ボランティア講座(事例紹介)の実施															
18町内自治会																						
【高齢化率】																						
48.5%																						
【地域の特徴】	共通	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・406地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。															
対象エリアが非常に広く、大きく3つの地域（西部・東部・中部）に分けられ、それぞれ異なる歴史・成り立ちを持ち、昔からの歴史のある地域と新興住宅地が混在している。																						
									○	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑦ 活動団体同士の連携・交流	・構成4団体との情報交換を積極的に行い、活動団体同士の連携、交流を推進する。 ・地域ケア会議の開催など地域の困り事解決に取り組む。 ・活動拠点の確保を図る。(資料の保管、打合せ場所の確保)	・構成4団体との情報交換を積極的に行い、活動団体同士の連携、交流を図った。 ・地域の困りごとの抽出を行うとともに、情報交換をすることで、活動団体同士の連携・交流を図った。 ・資料の保管場所について検討を行った。	○	・構成4団体との意見交換会を実施し、連携の推進を図る。 ・地域ケア会議などにより、地域の困りごとの抽出を行う ・資料の保管場所に選定した施設と保管方法について協議し保管場所を確保する							
																○	備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	⑨ 災害に備えた準備・体制づくり	・白井地区における災害の脅威と対応について、地区の団体で対応する項目を検討し、連絡体制を確立する。 ・災害時の社会的弱者のためのボランティア活動の在り方について検討し、その結果を災害時のボランティア活動に取り入れる。	・日赤千葉県支部より指導員2名に依頼し、避難所で約立つ知識・技術の習得を目的に生活支援講座を開催。災害時対応について再確認することができた。	○	・災害時に地区団体で対応すべき内容を協議する検討会を開催し、連絡体制の確立を図る。 ・救急法等講習会の実施
共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	⑬ 福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)。	・他区の地区部会の福祉教育の取り組みを視察。情報交換と交流を深める事が出来た。 ・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。																

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
- ：年度目標が概ね達成できた場合
- △：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
- －：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針
更科地区部会エリ ア	継続	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	① あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・現在活動中の3つのふれあいサロンの実施を継続する。	・活動中の3つのふれあいサロンのうち、1つのサロンが開催に至らなかったが、2サロンが実施を継続できた。	△	・引き続き、2つのサロン活動を継続する。（1サロンは活動終了）	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
2,510人、1,362世帯								
【町内自治会数】	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	・交流活動実施に向け、検討していくことと併せて、敬老会・風揚げ大会を実施する。	・9/17(日)に更科小学校体育館において、敬老会を開催した。 ・12/3(日)に更科小学校体育館及び更科中学校校庭において、風揚げ大会を実施した。	○	・敬老会と風揚げの継続とそれ以外のふれあい活動を検討する。	
12町内自治会								
【高齢化率】								
44.2%	共通	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・407地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	
対象エリアは非常に広いが、住基人口（2,683人）、世帯数（1,237世帯）は区内で一番少ない。 多くの地域が農村地域であり、人の出入りは多くなく、高齢化率が高いが、現役農家世帯が多く、元気な高齢者が多い。		あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑦ 活動団体同士の連携・交流	・地域団体との連携の強化(育成委員会と地区部会)を図るとともに、「うつしの祭」と「敬老会」の融合を検討する	・「うつしの祭」と「敬老会」の融合を検討する	○	・「うつしの祭」と「敬老会」の同時開催。	
		必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・地区部会だよりを年2回発行する。	・7月と11月に地区部会だよりを発行し、地区部会活動の周知と情報発信に努めた。	○	・地区部会だよりを年2回発行する。	
		必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪ オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	－	－	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	
		世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	⑬ 福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
- ：年度目標が概ね達成できた場合
- △：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
- －：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針
御成台、千城台西・北地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	① あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・いきいきサロン(年20回超)子育てサロン(年6回)開催し、住民同士の交流を図る。	・いきいきサロンを年20回、子育てサロンを年5回開催。また、夏休み子どもチャレンジ教室を千城台公民館において開催。住民同士の交流を図った。	○	・引き続き、R5年度の活動(いきいきサロン(年20回超)子育てサロン(年6回)開催)を継続していく。また、ゲーム、スポーツ、ヨガ等を組み入れ 心身を活性化する。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
9,252人、4,687世帯								
【町内自治会数】	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	② 健康や介護を通じた関係づくり	・いきいきシニア(年12回)ボールウォーキング(年15回)健康体操(年3回)その他ポッチャ(年1回)などを通じ、健康予防に資する。	・介護予防体操(千葉市いきいき体操、シニアリーダー体操、口腔体操など)を年12回、ふれあい散歩クラブ「ボールでウォーキング」を年13回(荒天により2回中止)、はつらつ健康体操を年3回実施した。	○	・引き続きR5年度の活動(介護予防体操(千葉市いきいき体操、シニアリーダー体操、口腔体操など)を年12回、ふれあい散歩クラブ「ボールでウォーキング」を年15回、はつらつ健康体操を年3回)を継続して実施する。	
17町内自治会								
【高齢化率】	共通	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・408地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	
38.9%		必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・広報紙を年5回発行する。 ・社協行事の紹介のほか、健康づくり、介護予防のための情報を発信する。	・社協だよりを年5回、各回2,500部を発行。14自治会全世帯及び各種関係団体に配布した。 ・社協行事の紹介のほか、健康づくり、介護予防の情報も併せて発信した。	○	・年5回の広報紙発行は、十分な発行回数であるため引き続き、R5年度の活動を継続していく。	
【地域の特徴】		必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪ オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	－	－	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	
モノレール沿線を中心に、ショッピングセンターや住宅地が広がるエリアで、公共施設等が多く設置されている。		世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	⑬ 福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
- ：年度目標が概ね達成できた場合
- △：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
- －：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針
千城台東南・金親地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	① あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・ふれあいサロン憩、ふれあいサロン南を実施する。 ・こども食堂「縁」に対しての手伝いを実施する。	・東町自治会館を借用し、ふれあいサロン憩を年間11回、「こども食堂 縁」を借用し、ふれあいサロン南を年間11回それぞれ実施した。 ・こども食堂「縁」で週2回、調理、配膳等の手伝いを実施した。	○	・ふれあいサロン憩、南を各月1回実施 ・こども食堂「縁」で週2回手伝い実施	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
9,820人、5,127世帯								
【町内自治会数】	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	③ 公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	・60歳以上の方を対象として「グラウンドゴルフ大会」、「バス研修旅行」を実施し交流の機会を作る。	・「グランドゴルフ」中止 ・8月31(木)に千城台公民館ホールにおいて「ボッチャ」を実施した。参加者・講師・スタッフあわせて27名の参加。 ・2月14(水)に「高齢者バス研修旅行」を実施。参加者・スタッフあわせて41名の参加。	○	・「ボッチャ」の開催 ・「バス旅行」を実施し、交流の機会を作る	
16町内自治会								
【高齢化率】	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	・地区内の小学生を対象とした「冬休みなかよし教室」を開催する。 ・東小学校、みらい小学校が開催する「昔あそび」を支援する。	・12/19(火)にみらい小学校一年生を対象に、「昔あそび」実施。児童28名、ボランティア19名の参加があった。 ・12/21(火)に東小学校一年生を対象に、「昔あそび」実施。児童37名、ボランティア16名の参加があった。 ・12//23(土)に千城台公民館において、「冬休みなかよし教室」を実施。みらい小22名、東小18名、ボランティア13名の参加があった。	○	・地区内小学生を対象とした冬休みなかよし教室を実施 ・東小、みらい小を対象に、「昔あそび」を実施。	
38.0%		あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・要支援者への生活支援(ゴミ出し、買い物、外出支援)の活動に取り組む。 ・将来を見据えて有償でのゴミ出し支援事業の検討を継続する。	・高齢者施設(和陽園)の送迎車を活用した買物支援事業を9月より開始した。 ・障害者施設((株)バストサポートの事業所「mazekoze」)の橋梁区による、有償のゴミ排出代行事業を、8月より開始した。	○	・買物支援事業の継続実施。 ・有償ゴミ排出代行サービスの継続実施。	
【地域の特徴】		あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑥ 見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・409地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	
モノレール沿線を中心に、ショッピングセンターや住宅地が広がるエリアで、公共施設等が多く設置されている。		あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑦ 活動団体同士の連携・交流	・御成台、千城台西・北地区部会との交流会を実施し、活動内容の情報交換を実施する。	・2/3に御成台、千城台西・北地区部会と合同で、元パラリンピック車椅子マラソン日本代表の「花岡伸和」氏を講師に迎え、講演会を実施。69名の参加があった。	○	・御成台、千城台西・北地区部会との交流で、活動内容の情報交換を実施	
		必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑩ 地域福祉に関する情報の発信	・広報紙の発行を通じ地域福祉の情報を地域住民に発信する。 ・ホームページの運営で情報媒体の多様化を図り、より情報量を増やす。	・広報紙「千城台東南・金親地区社協だより」を特別版を含めて年4回発行。各自治会より、会員へ配付。社協活動のPRに努めた。 ・ホームページの運用・管理を行い、今まで印刷物で配布していた案内等をHPに掲載し、情報発信を行った。	○	・広報紙「社協だより」を年3回発行 ・ホームページの内容を充実し、情報発信を拡大する	
		必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪ オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	－	－	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	
		世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	⑬ 福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)。	・支えあいのまち推進協議会において、事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
- ：年度目標が概ね達成できた場合
- △：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
- －：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目		令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針
26地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	①	あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・地域で出来る、あいさつ運動・グラウンドゴルフ・ポッチャ・子育てサロン等を通じて地域住民ふれあいを深める。	・挨拶運動 各自治会で実施 ・グランドゴルフ 大宮台自治会月24回、北大宮台自治会月4回 いずみ台ローズタウン自治会月3回 ・ポッチャ 大宮台自治会月2回、北大宮台自治会月2回 ・子育てサロン 大宮台自治会月1回、 いずみ台ローズタウン自治会月1回	○	令和5年度と同様に実施 参加していない自治会には参加を呼び掛ける	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】									
6,980人、3,560世帯									
【町内自治会数】	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	③	公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	・各自治会で健康でいきいき暮らせる、ラジオ体操・高齢者見守り・買物支援・公園清掃を行う。	・ラジオ体操 大宮台自治会毎日、いずみ台ローズタウン自治会月4回、水町内会8月に実施 ・高齢者見守り 大宮台自治会週2回、北大宮台自治会月2回、いずみ台ローズタウン自治会月4回、みどり自治会月1回、さくら自治会月8回、清水町内自治会随時 ・買物支援 大宮台自治会月4回、いずみ台ローズタウン自治会月8回 ・公園清掃 大宮台自治会月2回、北大宮台自治会月2回、いずみ台ローズタウン自治会月2回、みどり自治会月1回、さくら自治会月8回	○	令和5年度と同様に実施 参加していない自治会には参加を呼び掛ける	
8町内自治会									
【高齢化率】									
45.4%	共通	あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの 仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑥	見守り活動・助けあい活動の 仕組みづくり	・410地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討（加入数把握）。	
【地域の特徴】 徒歩圏内に鉄道の駅はなく、公共交通機関はバスのみ。 当該エリアの中心である大宮台団地は昭和36年～42年にかけ、千葉県住宅供給公社により開発された大規模団地（当時戸建住宅2,040戸）である。隣接はしないもののいずみ台ローズタウンを内包する。									
	○	備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	⑧	防犯活動の実施	・地域の安全のため、防犯防災パトロールを実施する。（各自治会で定期的に防犯パトロールを行う。）	8自治会で毎日実施	○	・継続実施。	
	共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪	オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	—	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	
	共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	⑬	福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携（好事例等の情報交換）。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

◎：年度目標以上のものが達成できた場合

○：年度目標が概ね達成できた場合

△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

－：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針																
若松地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	①	あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・町内自治会単位でのサロンへ開催への協力を行う。	○	・新規自治会実施。 ・地区部会主催ポッチャ大会の開催。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開																
【人口・世帯数】																								
19,834人、9,669世帯																								
【町内自治会数】																								
13町内自治会	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	②	健康や介護を通じた関係づくり	・あんしんケアセンターの講演を聞く。	・サロン開催時に実施した。	○		・サロン開催時に検討。 ・地区部会主催「ためになるお話と茶話会」開催															
【高齢化率】																								
28.7%																								
【地域の特徴】																								
地区部会対象エリアがとても広く、住基人口（19,749人）、高齢者数（5,314人）、世帯数（8,859世帯）は区内エリアで二番目に多い。 若松台2・3丁目の高齢化率（44.5%）が非常に高い。	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	③	公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	・ふれあい散歩クラブを立ち上げる。	・ふれあいいきいきサロンへの開催協力及主催サロンを実施したが、散歩クラブの立ち上げには至らなかった。	△		・立ち上げの検討。															
共通										あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑥	見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・411地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討（加入数把握）。								
																	共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪	オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	—	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。
	共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	⑬	福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携（好事例等の情報交換）。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○		・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。															

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

◎：年度目標以上のものが達成できた場合

○：年度目標が概ね達成できた場合

△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

－：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目		令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針
加曽利地区部会エリア	○	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑤	活動の中核となれる人材の発掘	・「助け合いの会」の今後の担い手をどうするのか討議し、「手当て」を含め、現状を聞いてもらい持参していく。	・「たすけあいの会」の今後の活動について、常任会議、及び月二回の戦略会議において、検討を行った。 ・一本釣りではあったが、若い担い手を発掘できた。	○	・戦略会議による具体的な担い手確保の手法決定。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】									
6,485人、3,269世帯									
【町内自治会数】	共通	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑥	見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・411地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。 ・多くの希望者に、安心カードを配付することができた。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討（加入数把握）。	
8町内自治会									
【高齢化率】									
30.9%	共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪	オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	－	－	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	
【地域の特徴】									
エリア内には小学校が設置されていなく、1町のみ（加曽利町）のエリアである。 古くから農業を営む世帯の地域、戸建住宅が多い地域、最近新たに作られた新興住宅地がある。	共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	⑬	福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携（好事例等の情報交換）。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和5年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
- ：年度目標が概ね達成できた場合
- △：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
- －：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針						
都賀地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	①	あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・子育てサロン月例開催 ・4カ所で健康・喫茶サロン開催	○	・子育てサロン月例開催 ・会場増設の可能性検討 運営課題の検討・充実	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開						
【人口・世帯数】														
13,478人、7,490世帯														
【町内自治会数】														
10町内自治会	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	②	健康や介護を通じた関係づくり	・健康体操月例実施(2カ所) ・フレイル対策の紙面啓発	○	・会場増設の検討 ・フレイル対策の紙面啓発 ・健康・介護の講演会開催							
【高齢化率】														
28.2%														
【地域の特徴】														
都賀駅、モノレール沿線を中心に、戸建住宅の多い地域と、賃貸住宅集合住宅が多い地域がある。 都賀の台1丁目から4丁目までの高齢化率の平均は約48.4%と、限界集落(50%：2人に1人が高齢者のまち)に近い状況まで高齢化が進んでいる。	○	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑥	見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・見守り対策の検討	○	・一人暮らし見守りの検討 ・民生委員への協力・連携 ・安否活動の協力体制検討							
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】									⑥	見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・405地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	○	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	⑦	活動団体同士の連携・交流	・自治会と民生委員の協力関係の理解共有 ・協力の在り方の具体化検討	△	・自治会と民生委員の協力関係の理解共有 ・協力の在り方の具体化検討							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	○	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑩	地域福祉に関する情報の発信	・「みんな仲間」を隔月発行	◎	・みんな仲間を隔月発行 ・有効な相談ネットの検討							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪	オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。							
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	○	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	⑫	福祉のこころを育む活動の実施	・各種出前講座、研修会等の実施検討	○	・出前講座の3回実施 ・みんな仲間で福祉の心に関する啓発(2回)							
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	⑬	福祉を学び実践する	・推進協開催時の好事例等の紹介 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。							

12 / 16

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

◎：年度目標以上のものが達成できた場合

○：年度目標が概ね達成できた場合

△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

－：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
- ：年度目標が概ね達成できた場合
- △：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
- －：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目	令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針
結・みつわ台地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	①	あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・いきいきサロン、子育てサロンについて、開催日程の告知、内容の再考に努める。 ・ふれ合い散歩クラブの新規実施を目指す。	○	・開催日程の告知、内容の再興に努める。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】								
23,534人、11,490世帯								
【町内自治会数】	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	②	健康や介護を通じた関係づくり	・「福祉のつどい」を年1回開催。地域の枠を超えてより広域で連携協力を検討する。	×	・地域の枠を超えてより広域で連携協力する検討。	
43町内自治会								
【高齢化率】	○							
27.9%								
【地域の特徴】		あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑤	活動の中核となれる人材の発掘	・各団体と交流 ・人材発掘に努める。	○	・各地域団体と交流 ・人材発掘に努力する。	
高齢化率が10％台の町丁（殿台町、東寺山町、みつわ台1丁目、源町、原町の一部）もいくつかあり、比較的高齢化率が低い。38の町内自治会数は区内最多（加えて5の管理組合）である。		あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑥	見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・各地域の活動事例聴取及び実施検討	○	・活動検討 ・情報交換会の実施	
		あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑥	見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・404、412地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。	
		あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑦	活動団体同士の連携・交流	・関係団体との意見交換会 ・開催の検討(実現性検討)	○	・意見交換会実施。	
	共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪	オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	－	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	
	共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	⑬	福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。	

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和5年度）個票

【達成状況の目安】

- ◎：年度目標以上のものが達成できた場合
- ：年度目標が概ね達成できた場合
- △：年度目標の一部が達成できた場合
- ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
- －：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目		取組項目		令和5年度の目標	令和5年度の実績	達成 状況	令和6年度の目標	今後の課題と方針
千城小地区部会エリア	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	①	あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	・地域ぐるみで声掛けや挨拶運動の奨励し、全自治会のうち3自治会で実施。 ・ふれあい・いきいきサロンを3会場で実施。	・地域ぐるみでの声掛けや挨拶運動を3自治会で実施した。 ・「ハナワクラブいきいきサロン」、「大宮町親睦会サロン」、「長峰台いきいきサロン」の3つのサロンで、延べ32回実施した。	○	・地域ぐるみでの声掛けや挨拶運動を新規2自治会、計5自治会で実施する。 ・ふれあいいきいきサロンを新規1カ所、計4カ所で実施する。 ・未実施のふれあいいきいき散歩クラブについて、実施エリアを検討する。	①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開 ②地域活動が見える方法の強化 ③地域資源の発掘と展開
【人口・世帯数】									
2,410人、1,293世帯									
【町内自治会数】	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	②	健康や介護を通じた関係づくり	・シニア体操(介護予防体操)クラブについて、既存の1カ所を継続実施。	・親睦会において、シニア体操(介護予防体操)を年間を通して実施した。	○	・未実施自治会等について、実施エリアの検討を行う。	
9町内自治会									
【高齢化率】									
47.1%	○	誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	③	公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	—	—	—	・公園を利用し、グラウンドゴルフ1カ所を開設する。	
【地域の特徴】									
エリア内には1町（大宮町）しか含まれていなく、小学校は設置されているが、児童数は区内で最も少ない。 古くから農業を営む世帯の地域があり元気な高齢者が多く、また新たに作られた新興住宅地がある。									
共通	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑥	見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	・410地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進。	・配布状況を確認し。カード更新及び配付を行った。 ・通報システム利用状況を確認。利用拡大の方法について検討を行った。	○	・カード更新及び配布。 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)。		
○	あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	⑦	活動団体同士の連携・交流	・各団体との意見交換会開催の検討。	—	—	・各団体との意見交換を実施する。		
○	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑩	地域福祉に関する情報の発信	・地区部会だよりを年2回発行する。 ・次年度場開を検討する。	・地区部会だよりを年2回発行した。	○	・特集号1回の発行を目指し、充実を図る。		
共通	必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	⑪	オンライン活用による情報交流	・オンライン会議の普及・啓発。	—	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。		
共通	世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	⑬	福祉を学び実践する	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)。	・支えあいのまち推進協議会において、他地区の事例紹介、意見交換を行った。	○	・推進協開催時の好事例等の紹介。 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等。		